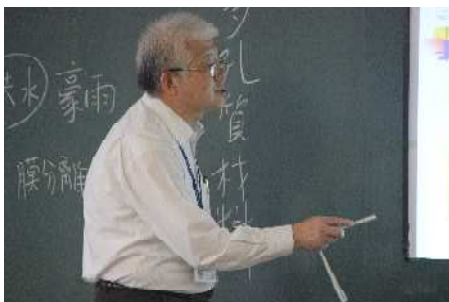


SGH講演会・意見交換会⑦（工学部）

6月27日（月）に、長崎大学工学部の夢田彰秀教授をお招きし、「身の回りの水環境問題」をテーマに講演会・意見交換会を行いました。長崎県内の閉鎖性水域で生じている水環境問題だけではなく、アフリカの湖沼再生保全対策戦略や亜熱帯化先進地域にある九州地方の降雨特性等についても教えて頂き、知見を広げることができました。意見交換会では、様々な観点からご教示いただき、「今後の研究にぜひ生かしていきたい！」という声が数多く聞かれました。



出張講義（熱帯医学研究所）

6月27日（月）医療班の代表生徒42名は、熱帯医学研究所の大学院生による出張授業を受講しました。生徒は外国人院生によるプレゼンテーションを聞き、MERS（中東呼吸器症候群）、Ebola、H1N1（新型インフルエンザ）など新興感染症について学びました。また、ディスカッションの時間では、積極的に英語でコミュニケーションを行う生徒の姿が多く見られました。このような貴重な体験を通し、生徒は、今後の課題研究へ活かそうという意欲に満たされていました。



フィールドワーク学習会（長崎県立大・国際社会学部）

6月27日（月）に、長崎県立大学国際社会学部の小原篤次准教授と中国からの留学生3名を含む大学生7名をお招きし、フィールドワーク（FW）学習会を開催しました。小原准教授から、FWとは何か、どのような形態があるのか説明していただいた後、小グループに分かれて大学生の方に質問をするロールプレイに挑戦しました。生徒たちからは、「実際に対面で質問し、求める情報を得ることは思いの外難しい」「中国からの留学生の方にはうまく伝えられないこともあった」との感想が聞かれました。夏季休暇中に取り組むFWに向けて、貴重な学習をすることができました。

